

令和4年度 熊本県中学校総合体育大会(サッカー競技)
競技規則および申し合わせ事項についての共通理解

2022.7

熊本県サッカー協会3種委員会 審判部

- 1 日本サッカー協会制定の「2020/2021サッカー競技規則」および本大会要項を適用する。
- 2 競技者・指導者がリスpekトの精神を重んじて試合に臨む。(暴力・暴言の追放、参加マナー向上等)
- 3 メンバー表の提出は、試合開始30分前までとし、各会場の大会本部へ提出して承認を得る。また、選手の背番号は、大会を通じて選手固有のものとする。
- 4 ユニフォームは、正・副異色の2着(1~99までの番号)を準備すること。パンツに番号が付いている場合は、上衣と同じ番号とする。ユニフォームが同色の場合は、主審立ち会いのもと変更のための協議を行うが、両チームとも変更を了承しないときは、コイントスによって変更するチームを決定する。
- 5 アンダーシューズやタイツを着用する場合は、主な色がシューズの主な色と同色、またはシューズの裾の色と同色とする。(怪我等によるサポーターやバンデージを除く)
- 6 すね当て(レガース)は必ず着用し、ストッキングに覆われていなければならない。PK方式による上位チームの決定になった場合でも、はずすことは認められない。(ストッキングは膝が見えるように折ってはくこととする。《九州中体連申し合わせ事項》)
- 7 試合開始前に、選手の確認と用具の点検を行い、不備な点があっても試合開始を遅らせない。
(特にユニフォーム、取り替え式スパイクのスタッド等)
- 8 選手の交代は、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から最大7名まで(再交代可)の交代が認められ、主審の許可を得て交代することができる。
ゴールキーパーが負傷して交代を余儀なくされた際は、セカンドキーパーと交代するのが通常だが、チームの事情によりフィールドプレイヤーがゴールキーパーを務める場合は、フィールドプレイヤーのときと同じ番号のゴールキーパーユニフォームで出場すること。(PKのときも同様である。)また、通常通りセカンドキーパーと交代したのだが、そのセカンドキーパーも負傷した場合は、ファーストまたはセカンドのキーパーユニフォームを借りてプレーすることを認める。
- 9 競技者が負傷した場合は、主審の判断により役員1名が競技場に入ることができる。その場合、水の持ち込みはよいが、スプレーなどでの治療は競技場の外で行う(ゴールキーパーを除く)。
負傷などにより、主審の許可を得て競技場から退いた競技者が再度入場する際は、主審の許可を得て入場する。(ゴールライン側からはアウトオブプレーのときのみ、タッチライン側からはインプレー中でも許可があれば可である。)ただし、負傷させた競技者が警告・退場を受けるようなファウルを犯した場合には、ピッチ内で負傷した競技者を短時間治療することもある。
- 10 テクニカルエリアからは、その都度1名のみが戦術的指示を与えることができる。指示をしなくてもその場に居続けることはできる。
- 11 競技者の安全を考慮し、装身具の着用は一切認めない。テープで覆っていても不可。
- 12 目印を競技場内にスパイク等でつけることは許されず、つけた場合は競技開始前であっても警告となる。
- 13 警告は累積され、2回警告を受けた競技者は次の1試合の出場を停止する。また、退場を命じられた競技者は次の1試合の出場を停止し、その後の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会の決定に従うものとする。
- 14 熱中症対策としてWBGT=25℃以上の場合は1分間の「飲水タイム」を、WBGT=28℃以上の場合は3分間の「Cooling Break」を行う。どちらかを設定する場合は、試合開始前の本部席集合時を目安に両チームにその旨を知らせる。「飲水タイム」はあくまでも飲水のための時間であるが、「飲水タイム」時に体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。ただし、「飲水タイム」時にミスト(霧吹き)を使用することやひしゃくでバケツの水をかけること等は時間がかかるので認めない。「Cooling Break」は3分間必ずテントに入れることにする。水以外のものが飲めるかはグラウンド管理者の判断によるものとする。延長前は3分間、PK前は1分間のインターバルをとり、ベンチに戻り休憩することを認める。ただし、選手以外はビブス等を着用すること。
- 15 PK方式による上位チームの決定において、一方のチームが他方のチームより人数が多い場合は、少ない方に合わせるように競技者の数を調整する。人数が多い方の主将は、除外する競技者の氏名と背番号を主審に通知する。また、コイントスに勝ったチームが先攻か後攻かを定める。
- 16 その他(お願い)
 - (1) 競技中に交代要員がウォーミングアップを行う場合は、ベンチの後方または脇とし、競技中の選手と異色の服装(ビブス等)で、ボールを使用せずに行う。また、ウォーミングアップをしていないときは、ベンチに座らせてください。
 - (2) ゴールネットにタオル等を掛けないように、各チームで指導してください。
 - (3) 審判員や他チームの批判・中傷を報道関係者にしたり、インターネット掲示板に書き込んだりしないように生徒たちに指導をお願いします。